

東京都立水元小合学園

令和7年9月1日(通算130号)

東京都立水元小合学園 校長 小池 巳世

SNS

随時更新中



充実した学校生活の始まり

就業技術科副校長 荒金 普玄

今年の夏休みは厳しい暑さが続き、記録的な猛暑に加え、カムチャツカ半島沖で発生した強い地震による津波警報、津波注意報が発令されるなど、気象の変化や自然災害に注意を払う日々が続きました。長かった夏休みが終わり、今日から児童・生徒の皆さんが、暑さの中で体調管理に気を付けながら元気に登校して、学校に活気が戻ってきました。

就業技術科は、9月に1年生が日光方面へ移動教室、10月は2年生が大阪方面へ修学旅行など宿泊行事が続きます。また、10月は3年生の現場実習、1年生の就業体験があり、進路を決定していく上で重要な時期となります。夏休み中に実施した面談では本人・保護者の方と共通理解を図ることができました。そして、課題に対して御家庭での取組や、伸ばすことのできた強みなどを、次の現場実習で存分に発揮してほしいと思います。学校でも、担任・進路指導部・その他生徒を支援する全ての教員が協力して、生徒の現場実習に向けて後押しをしていきます。

肢体不自由教育部門では、10月に高等部2年生の修学旅行、小学部6年生の移動教室を予定しています。児童・生徒一人一人が充実した活動をとおして、日常と違った場所での活動に喜びを感じることができるよう、準備を進めていきます。

9月から引き続き体調管理に御留意いただき、安全・安心な学校生活を送れるよう、保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

水元小合学園の防災対策について

肢体不自由教育部門 生活指導部担当主幹 佐藤 しほ

学校では、都が定める「避難訓練の手引き」に則り [\(リンク⇒左記手引き\)](#)、地震や火災、水害、台風等の荒天などを想定した避難訓練を年間11回行っています。避けることのできない災害から児童・生徒を確実に守るために、訓練の度に避難行動や避難経路、安否・連絡手段の確認などを行い、災害時に混乱のないよう準備しています。

今回は、災害発生時に児童・生徒が帰宅困難になった場合に備えて備蓄している物品を紹介します。

【災害時対応備品】毛布、カセットコンロ、ガスボンベ、鍋、食器、浄化ろ過機、発電機等
【備蓄食料】

- 普通食：調理用水、飲料水、白米(アルファ化米)、クラッカー、みそ汁、カレー、クリームシチュー、オニオンスープ
- 形態食：ミキサー粥、クリームシチュー、かぼちゃのおかず、野菜のおかず、鶏肉と野菜、にんじんのかず、さつまいものかず、ブラウンシチュー、トマトのおかず、豆のおかず